

## 1. セッション名

衛星測位システムとその利用

## 2. オーガナイザ氏名、所属

代表	氏名	所属
	北村 光教	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所

## 3. 概要

米国の GPS を始めとした衛星測位システムの普及が進み、世界的に活発な研究がなされている中、我が国の準天頂衛星システムも 2018 年 11 月から 4 機体制による準天頂衛星システムのサービスが開始された。加えて、2023 年度を目途に 7 機体制での運用を開始する計画に向け、現在 5 号機、6 号機、7 号機の開発が進められているところであり、7 機体制に向けては機能・性能向上が図られることとなっている。このように我が国では自国の衛星測位システムを有しており、加えてそのシステムが GPS 等と比較して、多くの有用なサービスを提供していることから、システム設計や、サービス運用、その利用、関連技術まで幅広く研究がなされている。

本年の宇宙科学技術連合講演会では、関係する研究者・技術者、及び関連の基礎研究等を行っている諸機関を含めて、衛星測位技術の向上にかかる研究開発成果等に関して幅広く情報交換を行うことを目的として当オーガナイズド・セッションを企画する。

上記のとおり、準天頂衛星システム 7 機体制の構築に向けた開発状況、各種衛星測位アプリケーションの進展状況、さらには将来の衛星測位システムに向けた研究開発状況について成果を広く公表することによって技術の向上に資するのみならず、衛星測位の進展に有用情報であることから、今年オーガナイズド・セッションを開催する意義を十分に有している。